

「第14回キッズデザイン賞」で6点の受賞 子どもたちの健やかな成長発達につながる社会環境の創出を目指して

積水ハウス株式会社は、8月21日に発表されたキッズデザイン協議会（内閣府認証 NPO 法人、本部：東京都港区）主催の「第14回キッズデザイン賞」において、「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」で2点、「子どもたちを産み育てやすいデザイン部門」で4点、計6点のキッズデザイン賞を受賞しました。当賞の創設以来、14年連続の受賞となります。

- ▶ キッズデザイン賞創設以来、14年連続で計93点受賞
- ▶ 次世代を担う子どもたちが安全かつ感性豊かに育つ住環境や子どもを産み育てやすい社会環境の創出を目指して活動を推進



子どもの発達に適した「居どころ」づくりを考え、生きる力を自然に育む「コドモイドコロ」

受賞をした「コドモイドコロ」は、長年の生活研究・研究開発のノウハウをもとに、子どもの生きる力を育む「居どころ」づくりの充実と、安全・安心と自主性を考えた「子どものためのユニバーサルデザイン」の考え方をさらに深め、提案をしています。

“「わが家」を世界一 幸せな場所にする”という企業ビジョンを実現するために、今後も研究成果を幅広く商品開発・生活面での安全配慮に活用し、子どもの安全・安心な環境づくりを目指して活動していきます。

キッズデザイン賞について

第14回キッズデザイン賞 web サイト「キッズデザイン賞の趣旨」より抜粋

キッズデザイン賞は、多様なステークホルダーとともに子どもの未来が持続的で明るいものであるように、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・空間・サービス・活動・研究の中から子どもや子育てに関わる社会課題解決に取り組む優れた作品を顕彰するものです。



お問合せ先 積水ハウス株式会社 広報部 大阪: 06-6440-3021 東京: 03-5575-1740
大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

各受賞内容について

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門

➤ 積水ハウスのキッズでざいん コドモイドコロ

子どもの生きる力を育む住まいづくりとして、子どもの成長に役立つたくさんの「居どころ」づくりと、安全・安心、自主性を考えたスマートユニバーサルデザインを追求した生活提案「コドモイドコロ」を2020年4月にリニューアルしました。これまでのコンセプト・提案に、新たな課題を解決する「ベビーのイドコロ」「疲れにくい勉強環境」の提案を追加しています。また、カタログに加え、子育ての悩み軽減を目指したリーフレットを作成し、「ベビー期」「キッズ期」の子どもを育てる親の疑問・悩みを解決する住まい提案を、共感しやすいQ&A構成で紹介しています。成長過程で身につける感性・知性・身体・社会性の4つの力を、発達に適した時期に伸ばす「コドモイドコロ」は、リニューアル後も多くの方に支持されています。



ベビー期の健やかな育ちを
「ベビーのイドコロ」



子どもの疲労を低減
「疲れにくい勉強環境」

➤ 大網白里市子育て交流センター※1

千葉県大網白里市周辺では、学童保育室の利用児童が年々増加しておりました。そこで、家でも学校でも職場でもない新しい交流の場「サードプレイス」をコンセプトとした「大網白里市子育て交流センター」を創ることで、隣接する大網小学校の学童保育室不足の解消とともに、放課後子ども教室、児童館、子育て支援、母子交流機能等を集約し、子育てをワンストップで支援できる環境としました。子どもを中心に多世代とのコミュニケーションが生まれ、地域全体で子育てをサポートする意識の醸成と態勢の構築を目指します。



多世代交流ができる
「子育て交流センター」



交流を促す
「コミュニケーションロード」

※1 千葉県大網白里市との共同応募。大網白里市の設計・施工一括発注方式による子育て交流センター整備事業の公募型プロポーザル

子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

➤ 関東住まいの夢工場 小林さんち。

近年、共働き世帯数の増加に伴い、家事シェア意識向上、在宅ワークの増加など、子育てファミリーの実態や価値観は変化しています。また、住まいを考えるとときは、「自分や家族がしたい暮らし」をイメージすることが重要です。

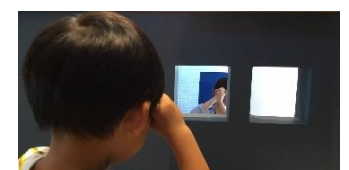
そこで、子育てファミリーの「わが家らしい家づくり」をサポートし、幸せな暮らし提案とコミュニケーションの仕掛けを設けた関東住まいの夢工場「小林さんち。」を2019年10月にリニューアルオープンしました。

「小林さんち。」では、10年後の子育てファミリーにもフィットする提案や、まるでそこで実際に生活しているかのような細かいスタイリングで、見て伝わるリアルな暮らし演出等が「共感する暮らし」を発見しやすい仕掛けとなっています。

小さなお子さまのお世話や日々の仕事などの理由から展示場へ足を運べない場合でも、パンフレット掲載のQRコード※2から、小林さん家族の暮らしぶりが見られる「小林さんち。動画」や「360°VR」も用意しました。どこにいても「小林さんち。」が体感できる仕掛けとなっています。



「共感する暮らし」が見つけられる
小林さんち。



腰壁にある小窓で楽しむ子ども

※2 「QRコード」は(株)デンソーウェブの登録商標です。

➤ 子育て世帯の住環境提案 積水ハウスの賃貸住宅「シャームゾン」に在宅ワークしやすい環境を

今年に入り、新型コロナウイルスの感染症拡大予防として、在宅ワークが推奨されるなど、働き方改革が急速に求められました。会社の仕組みや在宅での仕事環境が十分に整わない中、トライアルで始まった在宅ワークでは、住まいへの課題が顕在化した一方で、ワークライフバランスの向上などのメリットもありました。

今後も在宅ワークが働き方のニューノーマルになることが予測され、住まいの中での新しい暮らし方の提案が必要となります。

子育て世代のための在宅ワーク対応型賃貸住宅「シャームゾン」は、仕事と生活のメリハリをつけながらも、バランスをとってうまく融合する、ワークライフ・ミックスという考え方に基づいています。ON・OFFの切り替えがしやすい住まいの環境づくりをすることで在宅ワークとの両立が図れます。在宅ワークが進むことにより、親の時間的・精神的・金銭的な余裕が生まれ、子どもたちの健やかな成長へと繋がっていきます。



キッチンやワークスペースでも子どもの様子がうかがえる多目的スペース



間仕切り壁を設け、在宅ワークスペースを確保

➤ Open Village ノキシタ ※3

2011年の東日本大震災以降、数多くの方が移り住んできた仙台市東部の新興住宅地では、地縁のある方も少なく、日常で気軽に交流するコミュニティの場が望まれていました。そのような地域に子育て世代から高齢世代まで様々な人々が気軽に集うことができる場所として共生型複合施設「Open Village ノキシタ」が2019年にオープンしました。

「Open Village ノキシタ」は、“「つながり」と「役割」で健康になる街づくり”をコンセプトとした「保育園」、「交流施設」、「カフェ」、「障がい者サポートセンター」の4つの施設が中庭を囲むように配置されています。中庭は、周囲の建物から目が届きやすく、子どもたちが安全に過ごせるように工夫されています。

今後、地域住民やボランティアの方々と協力し合い、様々なイベントを継続して企画することで、地域に密着した「これからの街づくり」を目指しています。



子どもが遊べる中庭を中心に配置された「Open Village ノキシタ」



周囲の人々に見守られながら遊べる中庭

※3 株式会社 AiNest（国際航業株式会社 100%出資会社）との共同応募。

事業計画・施設運営：株式会社 AiNest／建築計画・設計・施工：積水ハウス株式会社

➤ それ、こども OS です ※4

子どもの遊び行動に見られる特有の思考や行為を表した 22 の行動言語「こども OS」について、性別・年代別の出現傾向を把握するため、保護者や子ども自身へアンケート調査を行い、その結果を冊子にまとめました。

子どもにとって「遊び」は、身体的・精神的・社会的な成長発達のために、重要な役割を担っています。本研究では、今どきの子どもの実態を捉えるため、直近半年間の「こども OS」の出現率について、890 件のアンケート回答を得ました。集計結果から「こども OS」の性別・年代別の特徴を細かく分析するとともに、突発的な危険を未然に防ぐための「ハザードチェックポイント」を併載し、安全配慮をも促す研究成果としました。



「こども OS」冊子の表紙



「こども OS」解説とアンケート結果

※4 大阪府、株式会社ジャクエツ、コクヨ株式会社、特定非営利活動法人 GIS 総合研究所との共同応募